

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	日光市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	日光けっこうフェスティバル2017	総事業費	13,055,646	12,559,986	13,230,000	13,230,000	13,230,000	65,305,632
		うち市町支出額	7,470,000	7,310,000	7,470,000	7,470,000	7,470,000	37,190,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000			3,000,000
2	第18回日光ツーデーウォーク	総事業費		8,222,693	8,470,000	8,470,000	8,470,000	33,632,693
		うち市町支出額		6,066,000	6,336,000	6,336,000	6,336,000	25,074,000
		うち県交付金		1,000,000	1,000,000	1,000,000		3,000,000
3	日光いろは坂女子駅伝大会	総事業費	51,573,615	47,362,120	48,273,000	48,273,000	48,273,000	243,754,735
		うち市町支出額	25,000,000	25,000,000	25,000,000	25,000,000	25,000,000	125,000,000
		うち県交付金	1,000,000	2,000,000	0			3,000,000
4	第12回日光杉並木マラソン大会	総事業費		9,833,814	9,550,000	9,550,000	9,550,000	38,483,814
		うち市町支出額		4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	16,000,000
		うち県交付金		1,000,000	1,000,000	1,000,000		3,000,000
5	日光国際音楽祭 第三回声楽コンクール	総事業費	3,100,511	3,244,676	3,480,000	3,480,000	3,480,000	16,785,187
		うち市町支出額	2,000,000	1,835,000	2,000,000			5,835,000
		うち県交付金	1,000,000	917,500	1,000,000			2,917,500
6	日光MOMIJIKAプロジェクト	総事業費		5,187,949	4,500,000	4,500,000	4,500,000	18,687,949
		うち市町支出額		2,000,000	2,000,000	2,000,000		6,000,000
		うち県交付金		1,000,000	1,000,000	1,000,000		3,000,000
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	67,729,772	86,411,238	87,503,000	87,503,000	87,503,000	416,650,010
		うち市町支出額	34,470,000	46,211,000	46,806,000	44,806,000	42,806,000	215,099,000
		うち県交付金	3,000,000	6,917,500	5,000,000	3,000,000	0	17,917,500

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光けっこうフェスティバル2017
事業主体の名称	日光けっこうフェスティバル実行委員会
代表者の名称	斎藤 文夫
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 気候が比較的安定し空気の澄む秋に花火大会のほか自然に親しむイベントを開催し、市民及び近隣市町村住民並びに行楽のお客様に印象に残る日光の秋を楽しんでいただき、10万人の集客を目標とする日光の新たな名物を創出していく。</p> <p>・設立年月日:平成7年4月1日</p> <p>・構成員等:市内各種団体長等80名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>世界遺産の二社一寺や日光国立公園を有する当市は1年を通じて多くの観光客が訪れ、中でも秋は紅葉により観光客が特に増加するが、市外からの観光客と地域住民との交流の機会がないため、地域の魅力を広く効果的に発信できていない。</p> <p>よって、多くの集客・リピーターが見込める秋に、観光客・地域住民の多様なニーズに応え、地域も人も巻き込むイベントを実施することにより、国際的な観光都市としての当市のブランド力をより一層向上させ、交流人口の更なる増加とひいては移住・定住に繋がる機会を創出する必要がある。</p>
事業目的	<p>・イベントを通して日光の強みである観光の部分を中心に日光市の魅力を発信し、交流人口の増加を目指す。</p> <p>・観光客のニーズに応えるため、地域の商店と連携し、誰にでもやさしい観光のまちづくりを目指す。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】 【概要】 ①雨天により会場使用が不可能なため屋間の部を中止。 ②日光秋の花火(10/14)を大谷川河畔で実施 ③日光伝統工芸品展示審査会(10/12~10/15)を日光木彫りの里工芸センターにて開催</p> <p>【KPI向上の取り組み】 ・日光秋の花火は、種類・構成等に演出を凝らしショー的要素を強調した近辺に類をみない花火大会となっており、集客効果が高いこのイベントを夜に開催することによって、宿泊も含めて観光客を長時間滞在させ、地域経済の活性化や日光市の魅力を発信する機会の増加を促進した。屋間の部は雨天により中止となってしまったが、約2万人を集客した。</p> <p>【平成30年度】 平成29年度の取組成果を踏まえ、地域ブランドの更なる向上に寄与する事業として実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内 H28:11位 ⇒ H31年度:10位以内【29年度 12位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	日光けっこうフェスティバル2016の開催	日光けっこうフェスティバル2017の開催	日光けっこうフェスティバル2018の開催		日光けっこうフェスティバル2019の開催
事業費	13,055,646	12,559,986	13,230,000	38,845,632	13,230,000
市町支出金 (ソフト事業分)	7,470,000	7,310,000	7,470,000	22,250,000	7,470,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	5,585,646	5,249,986	5,760,000	16,595,632	5,760,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 燿子
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	第18回日光ツデーウォーク
事業主体の名称	日光ツデーウォーク実行委員会
代表者の名称	会長(日光市長) 斎藤文夫
事業主体の所在	日光市中鉢石町999番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:日光ツデーウォークの開催 ・設立年月日:平成11年5月1日 ・構成員等:日光市、(一社)日光観光協会、NPO法人栃木県ウォーキング協会、(株)ちぎテレビ 他 関係団体代表者等 合計76名
当該事業に係る地域の現状と課題	日光地域は、世界遺産「日光の社寺」や大谷川・杉並木の自然を有し、これらの資源を有効に地域活性化に活用することが求められている。地域を訪れる観光客の数は季節によって大きく変動するため、入込客が落ち込む時期(例えば夏季と紅葉シーズンとの狭間にあたる9月期)において、誘客につながるイベントを開催し、地域資源を活かした体験型・交流型の観光スタイルを推進する必要がある。
事業目的	世界遺産に登録されている東照宮、輪王寺、二荒山神社を中心とした「日光の社寺」に点在する文化財等が点在し、豊かな自然の中にある「日光路」を歩くなど、地域の自然・歴史・文化など日光市の魅力あふれる着地型観光により、交流人口の増加を図る。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>【概要】 2日間に渡って、ウォーキング大会を実施する。距離に応じて1日あたり3コースを設定する。コースは日光の社寺をはじめ、豊かな自然の中を歩くコースを設定している。 日時:平成29年9月2日(土) 午前8時30分～ 世界遺産「日光の社寺」コース(5km 10km 20km) 平成29年9月3日(日) 午前8時30分～ ギネスブック「日光杉並木」コース(5km 13km 20km) 会場:日光市日光総合会館(スタート・ゴール) 参加者:延べ1,428名</p> <p>●2日(土) 5km スタート → 開山堂 → 二社一寺 → ゴール 10km スタート → 開山堂 → 滝尾神社 → 二社一寺 → 大日橋 → 化地蔵・憾満が淵 → ゴール 20km スタート → 開山堂 → 滝尾神社 → 二社一寺 → やしおの湯 → 大日橋 → 化地蔵・憾満が淵 → ゴール</p> <p>●3日(日) 5km スタート → 石屋町街区公園 → 日光杉並木 → ゴール 13km スタート → 石屋町街区公園 → 日光杉並木 → だいや体験館 → 大谷川 → ゴール 20km スタート → 石屋町街区公園 → だいや体験館 → 市縁ひろば → 日光杉並木 → 大谷川 → ゴール 参加賞として、大会名の入ったバッジ・ヒップバックを参加者全員に配布した。</p> <p>【KPI向上の取り組み】 ・5km、10km、20kmと様々なコースを設定することにより、多くの人が参加しやすいよう準備を進めた。 ・世界遺産に登録されている東照宮、輪王寺、二荒山神社を中心とした「日光の社寺」をコースに取り入れ、実際に一歩一歩体感することにより、文化財豊かな日光市の魅力を幅広く発信し、交流人口の増加、定住化を推進することができた。 ・1日目に世界遺産「日光の社寺」コース、2日目にギネスブック「日光杉並木」コースと趣の異なった2種類のコースを設定し長期滞在を促すことにより、地域経済の活性化や日光市の魅力を発信する機会の増加を促進した。</p> <p>【平成30年度】 平成29年度の取組成果を踏まえ、地域ブランドの更なる向上に寄与する事業として実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載</p> <p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内 H28:11位 ⇒ H31年度:10位以内【29年度 12位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第18回ツデーウォークの開催	第19回ツデーウォークの開催	第20回ツデーウォークの開催		第21回ツデーウォークの開催
事業費	8,222,693	8,470,000	8,470,000	25,162,693	8,470,000
市町支出金 (ソフト事業分)	6,066,000	6,336,000	6,336,000	18,738,000	6,336,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,156,693	2,134,000	2,134,000	6,424,693	2,134,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 嬪子
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光いろは坂女子駅伝大会
事業主体の名称	『日光をランナーの聖地』とする実行委員会
代表者の名称	斎藤 文夫
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的: ○日光いろは坂女子駅伝の開催に必要な準備と大会の運営に関する事業を行うことを目的とする。 ○市内でのマラソン大会の実施。地域のスポーツ振興に資するだけでなく、日光市のPRやイメージの向上に大きく貢献する。 ・設立年月日:平成25年11月29日</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>日光市の観光資源である「いろは坂」をコースに含む女子駅伝大会を実施することで、地域のスポーツ振興に資するだけでなく、日光市のPRやイメージの向上に大きく貢献することが期待できるが、知名度が高くなく県内外に大会の存在・魅力を十分にアピールできていない。 本大会の参加者資格は日本学生陸上競技連合に登録している現役大学生や登録経験がある卒業生と定められており、参加者のレベルは高いため、当市の新たな地域資源イベントとして成長させ、ブランド力を向上させる取組の一つとするためには、今後も大会を継続的に実施し、更に発展させていくことが重要である。</p>
事業目的	<p>・全国の大学チーム(主に関東圏を中心とした)に参加を募り、将来的には「男子の箱根、女子のいろは」と呼ばれるような大会にすることを目的とし、日光市のブランドイメージの向上を図る。 ・大会情報に加え、本市の豊富な地域資源・観光情報を併せてテレビやラジオ、インターネットによって発信することで、本市の地方創生を推進させ、ブランド力を向上させる取組の一つとする。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】 【概要】 ①開催日:平成29年11月26日(日)開催 ②コース:日光だいや川公園から日光二荒山神社中宮祠までの6区間23.4kmの標高差約875mのコース ③参加チーム:12大学13チーム(学生チーム(現役学生のみ)、混合チーム(現役学生及びOG)) ④その他 ・大会の様様をテレビで放映し、大会及び日光市の魅力を全国に広く発信した。 ・表彰式は日光二荒山神社参集殿で行い、日光杉を使用したトロフィーや、日光彫りの楯などを賞品として提供した。 ・「オフィシャル応援バスツアー」を実施した。</p> <p>【KPI向上の取り組み】 ・テレビ放映のほか、大会の映像・写真・記事・個人記録などは、ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体で積極的にPRすることで、世界遺産だけでなくマラソンやアイスホッケー等のスポーツも盛んな本市の魅力を広く発信し、更に多くの人を呼び込むための取り組みとした。 ・優勝杯は日光杉並木の並木杉を使用し、世界遺産を守る職人が二社一寺と同じ材料を用いて、漆塗り・金箔・彩色を施している。また、優勝の文字と大会名などは日光の伝統工芸である日光彫りによるものであり、地域の魅力あふれる文化・伝統産業をPRできた。 ・応援バスツアーの実施によって地域経済の活性化に繋げ、参加者には大会の応援だけでなく、ツアー中で本市の持つ地域資源に触れる機会を増やすことで、大会開催を契機とした更なる観光客の取り込みと交流・定住人口の増加を図れた。</p> <p>【平成30年度】 廃止が決定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内 H28:11位 ⇒ H31年度:10位以内【29年度 12位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	日光いろは坂女子駅伝大会の開催	日光いろは坂女子駅伝大会の開催	日光いろは坂女子駅伝大会の開催		日光いろは坂女子駅伝大会の開催
事業費	51,573,615	47,362,120	48,273,000	147,208,735	48,273,000
市町支出金 (ソフト事業分)	25,000,000	25,000,000	25,000,000	75,000,000	25,000,000
うち県交付金	1,000,000	2,000,000	0	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	26,573,615	22,362,120	23,273,000	72,208,735	23,273,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 頌子
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	第12回日光杉並木マラソン大会
事業主体の名称	日光杉並木マラソン大会実行委員会
代表者の名称	斎藤 文夫
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:日光市に全国各地から多くのランナーを迎え、市民とともに歴史的文化遺産である世界一の杉並木の下を走り、身体と心の交流をととして、日光市のイメージアップを図る。 ・設立年月日:平成6年4月1日 ・構成員等:市内各種団体長等41名
当該事業に係る地域の現状と課題	日光市が有し、ギネスブックにも掲載されている日光杉並木は、国で唯一、特別史跡及び特別天然記念物の両方に登録されており、全国的にも貴重な地域資源となっている。この杉並木の下を走る杉並木マラソン大会は、全国的にも珍しい大会であり、地域のスポーツ振興に資するだけでなく、日光市のPRやイメージの向上に大きく貢献することが期待されているが、十分にアピールできていない。このため、新たな参加者の掘り起こしが課題となっている。
事業目的	日光市に全国各地から多くのランナーを迎え、市民とともに歴史的文化遺産である世界一の杉並木の下を走り、身体と心の交流をととして、日光市のイメージアップを図る。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>3種類のコースを設定し、それぞれ年齢ごとに部門を設け上位6位までを表彰する。市内外のランナーを多く迎え、歴史的文化遺産である杉並木の下を走り、心身と体の交流を通して、健康への意識向上を促すだけでなく、日光市のイメージアップを図る。また、第12回大会から新たにペア部門・親子部門を創設し、参加者の掘り起こしを図れた。</p> <p>①鷹の巣とりコース(3km) ※小学生部門・中学生部門・ペア部門・親子部門 ②十石坂コース(5km) ③例幣使コース(10km)</p> <p>記念グッズの配布やプログラムに地域PR等を通じて、日光市の魅力を発信する取組を行った。 参加申込数:延べ2,865名(全18部門) 各部門、上位6位入賞者には杉板の賞状授与。上位3位にはメダル授与。1位には東照宮より絵馬が授与された。</p> <p>【KPI向上の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3km、5km、10kmと3種類のコースを設定し、かつ年齢ごとに部門を設けることにより、多くの人が参加しやすいよう準備を進めた。 ・日本で唯一特別史跡及び特別天然記念物の両方に登録されている日光杉並木の下を走るマラソン大会を開催し、広く参加者を募集することにより、日光市の魅力を幅広く発信し、交流人口の増加、定住化を推進する機会にできた。 ・親子や家族、友達の絆を深めることを目的にペア部門や親子部門を創設することにより、健康への意識の向上を促すだけでなく想い出に残る大会となるよう開催し、日光市のイメージアップを図り、交流人口の増加、定住化を推進する機会になった。 <p>【平成30年度】</p> <p>平成29年度の取組成果を踏まえ、地域ブランドの更なる向上に寄与する事業として実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内 H28:11位 ⇒ H31年度:10位以内【29年度 12位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	日光杉並木マラソン大会の開催	日光杉並木マラソン大会の開催	日光杉並木マラソン大会の開催		日光杉並木マラソン大会の開催
事業費	9,833,814	9,550,000	9,550,000	28,933,814	9,550,000
市町支出金 (ソフト事業分)	4,000,000	4,000,000	4,000,000	12,000,000	4,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	5,833,814	5,550,000	5,550,000	16,933,814	5,550,000

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光国際音楽祭 第三回声楽コンクール
事業主体の名称	日光国際音楽祭実行委員会
代表者の名称	下司 愉宇起
事業主体の所在	東京都新宿区西新宿3-9-28-302
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 新たな日光の観光遺産としての礎を築く、日光発信による新人音楽家の発掘、日光地域文化の向上と市民への高レベルな音楽芸術を提供する</p> <p>・設立年:平成27年4月29日</p> <p>・構成員等:地元住民と音楽家 15名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市は、2006年に今市、日光両市と藤原、足尾両町、栗山村の5市町村が合併して誕生したが、現在、少子高齢化・人口減少が大きな課題となっている。</p> <p>本市の特徴として、世界遺産の二社一寺や日光国立公園など豊かな地域資源を有する一方、合併後、クラシック分野の音楽祭やコンクール事業など、文化芸術分野での地域PRはほとんど実施できていなかった。</p> <p>今後、上記の課題解決のため、芸術文化面も含めて総合的・多面的な地域の魅力を発信し、観光地の優位性をさらに高め、来訪への期待感を醸成し、交流人口を増やす必要がある。</p>
事業目的	<p>・「日光国際音楽祭 声楽コンクール」を開催することによって、日光連山の豊かな自然と有数の世界遺産を抱く日光から、世界的な声楽家を発掘する。</p> <p>・華厳の滝を登り龍となるごとく、このコンクールが声楽家の登竜門として発展してゆき、ここから誕生する声楽家たちが世界へ羽ばたいていってもらおう。</p> <p>・また、ピアノやその他楽器よりも比較的華やかな声楽にすることで市外からの観客動員数を伸ばすとともに、地域市民の音楽への理解を深め、観光遺産として日光のブランドイメージの向上を図るとともに、交流人口を増やし移住・定住化を推進する。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>【概要】</p> <p>第三回日光国際音楽祭 声楽コンクール</p> <p>●予選:実行委員会による音源審査</p> <p>●本選:開催日時:平成30年3月3日</p> <p>開催会場:日光総合会館大ホール</p> <p>本選出場者:32名(大賞・準大賞・奨励賞各1名ずつ選出)</p> <p>本選では一人当たり演奏持ち時間10分間で競う。公開審査のため入場料は無料。入場者数は800名程。</p> <p>【KPI向上の取り組み】</p> <p>・日光市観光大使で、日本全国で数多くの合唱団を指導し自身も多くの楽曲を手掛けマルチに活躍する、声楽家・アーティスト「下司愉宇起」氏が主催団体の代表を務めていることから、知名度のある下司氏が積極的に音楽関係者に事業PRを行った。</p> <p>・事業のPRだけでなく観光PRにも力を入れ、市及び本大会のブランド力向上に繋げるため、全国の音楽大学への募集要項を送付し、著名な音楽家に審査委員を依頼した。また、プログラムに市内の企業・店舗の広告を掲載し日光市のアピールにも力を入れた。</p> <p>参考:第1回審査員長:東京藝術大学名誉教授・作曲家 佐藤真氏 第2回審査員長:東京藝術大学講師・洗足学園音楽大学客員教授・作曲家 青島広志氏 第3回審査員長:栃木県オペラ協会会長・栃木県声楽研究会会長 荻野久一氏</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング</p> <p>H28:11位 → H31年度:10位以内(29年度 12位)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度	
事業内容	日光国際音楽祭 第二回声楽コンクール	日光国際音楽祭 第三回声楽コンクール	日光国際音楽祭 第四回声楽コンクール		日光国際音楽祭 第五回声楽コンクール	
事業費	3,100,511	3,244,676	3,480,000	9,825,187	3,480,000	
手数	市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	1,835,000	2,000,000	5,835,000	0
	うち県交付金	1,000,000	917,500	1,000,000	2,917,500	
	市町支出金 (ハード事業分)				0	
	うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,100,511	1,409,676	1,480,000	3,990,187	3,480,000	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 頌子
電話	0288-21-5147
連絡先 FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光MOMIJIKAプロジェクト
事業主体の名称	日光MOMIJIKA
代表者の名称	須藤 幸喜
事業主体の所在	日光市今市1240-3-204
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 市内で捕獲されるシカの皮革に着目し、廃棄されるシカを資源化し、地域産物として有効活用を目指す。また資源利用をとおして、生命の尊重、地域の活性及び都市部との物事共有を図る。 ・設立年月日:平成27年1月 ・構成員等:地元住民及び関係者15名
当該事業に係る地域の現状と課題	シカによる農林業被害は後を絶たず、市では年間4,000頭ほどのシカが駆除され、その多くは焼却・埋設により廃棄されている。その背景には、福島第一原発事故による放射性物質の影響があり、食肉利用することが極めて困難な状況におかれている。そこで、食品安全基準にかからないシカの皮革に着目し、新たな資源の発掘並びに地域ブランドとしての構築に努める必要がある。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の都合で捕獲するシカの命を尊重し、少しでも資源として活かす。 ・シカを日光の人々にとって山の恵みとし、山と生きる活力にする。 ・観光客など都市部の人々にシカと触れてもらい、日光の出来事を身近に感じてもらう
事業概要	<p>【平成29年度】 【概要】 <日光 秋の鹿革フェア> 開催日時:平成29年9月22日~24日(10:00~15:00) 開催会場:東京ソラマチ「とちまるショップ」イベントスペース 鹿革と鹿革細工の展示・販売・体験会</p> <p><MOMIJIKA FESTIVAL 2017 シカを山のめぐみに~狩猟文化と地域資源を考える~> 開催日時:平成29年11月3日~5日 来場者数:1200人(3日間の延べ人数) 開催会場:道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣 入場無料。鹿革クラフトの展示・販売・体験等、MOMIJIKAメンバーによるトークイベント実施。 その他に、普及啓発のための体験教室を年40回以上開催した。</p> <p>【KPI向上の取り組み】 ・地元の猟師に向けて→シカ革細工の体験やイベントを通して皮剥きの協力を求めた。 ・地域住民に向けて→シカ革細工の体験教室を実施し、革製品の製作の担い手を募集した。 ・地域全体に向けて→展示販売会トークイベントを開催し資源利用を推進した。</p> <p>【平成30年度】 ・シカ皮革の資源利用に向けての人財育成に力を入れつつ、MOMIJIKA FESTIVAL 2018を継続的に開催予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】安心して働くことができ、安定した生活を支える「しごと」をつくる</p> <p>【KPI】伝統工芸等のブランド認定件数 H27年度:0件 ⇒ H31年度:5件 【H28実績6件】</p>

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	日光MOMIJIKA FESTIVAL 2017	日光MOMIJIKA FESTIVAL 2018	日光MOMIJIKA FESTIVAL 2019		日光MOMIJIKA FESTIVAL 2020
事業費	5,187,949	4,500,000	4,500,000	14,187,949	4,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	2,000,000	2,000,000	6,000,000	
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,187,949	2,500,000	2,500,000	8,187,949	4,500,000

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 頌子
連絡先	
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp